

師走を迎えて

分所長 高木敏彦

早いもので今年も早、十二月を迎えました。この1年を振り返りますと、長年の間人型宣などにお活躍されていた鈴木正勝さんが九月にお亡くなり、淋しい想いでいっぱいです。

来年は令和八年丙午を迎えますが、綾機平での綾機神社の建立など様々な行事が続きます。

また、人型宣教にお励み頂き、寒い中ですが、お体に気を付けてお過ごしください。

真の宗教

出口 王仁三郎

宗教の宗の字は、国語にて宗（むね）と訓ず、宇宙一切の経緯を示すという意味である。ウ冠のウは、天地万有一切を生み出す神の経緯という言葉であり、下の示すという字は、天地人開くという意味である。

宗教という意味は天地人一切に関する根本の真理を開示し、神の意志によって人心を導き、民をおさめ、一切の万有を安息せしむべき意味が含まれている。故に宗教は、天文、地文、政治、教育、芸術、経済、その他ありとあらゆるものに対し、根本的解決を与えるものの言いである。

今までの既成宗教はいずれも天に傾き、

地に傾き、あるいは心に傾き、そして一切の人間界と乖離している傾きがある。現実界を疎外し、厭離穢土だとか、苦の世界だとか、火宅土とか、種々軽侮的扱いをなし、しかして目に見えない霊界を賛美渴仰し、人間世界の要諦にふれていないものばかりである。中には立派な宗教と現代人が思っている教理は、人間の慣性たる五倫五常の道をもつぱら説いて宗教の本旨にかなったもののように思っているのが多い。試しの道的心得だとか、八ツのほこりだとか、五戒十戒だとか、地上の人間に対し禁欲的の教理を教え、神仏は非常に尊きもの、恐るべきものとして、ほとんどの人間の近づくことができないもののごとく習慣づけてきたものである。

人間は生まれながらにして善悪正邪の區別は知っている。教えるものは今日の曇りきった人間の知識をもって測知すべからざる真理を教えてこそ、初めて宗教の価値もあり権威もあるのである。バイブルを調べても、釈迦の一切経を調べて見ても、いたずらに文句を長たらく並べたのみで、これという一つの竜頭を認めることができない。故に既成宗教を調べれば調べるほど、迷いを生ずるのみであって、いたずらに時間を空費するのみである。故に今日まで、宗教が人心によい感化を与えたことは少々あっても、至粹至純なる天賦の精霊を混濁せしめたことも甚大である。そうして今まで地上は宗教あるが故に残虐なる宗教戦も度々繰り返された。

要するに宗教なるものは、地上一切の経緯に対し、根本的に指導すべき使命をもっているものでなくてはならないのである。

「惟神の道」より

主な行事予定

12月7日(日)
少年冬季学級 三河本苑にて
12月14日(日) 午後1時半より
碧南分所月次祭 担当第2班
12月21日(日) 午前10時より
三河本苑月次祭・全体会議
12月27日(土)
万祥殿献勞

令和八年

一月一日(月) 午前九時より
碧南分所元旦祭
三河本苑新年祭 午前十一時より
一月十一日(日) 午後一時半より
碧南分所月次祭 担当第三班
一月十八日(日) 午前10時より
三河本苑月次祭 成人式・七草粥

12月の誕生者

おめでとうございます!

鈴木 佐保乃 生田 実紗 8日 生田 吉治
14日 鈴木 敏子 18日 藤浦 ふじ子 20日
安藤 香春 25日 久野 芳紀 坂野 唯
30日